

ゼロカーボンシティちょうふ

2025年 秋号

No. 4
ZERO
CARBON
CITY
CHOFU

調布の未来をあかるく照らす

た

Switch



CONTENTS

LED照明でゼロカーボン!

～あなたの選択が地球の未来を変える～
家計にも地球にも優しい照明への切替を

計画策定レポート

「環境」と「くらし」をつなぐ未来地図

わがまち企業のゼロカーボン

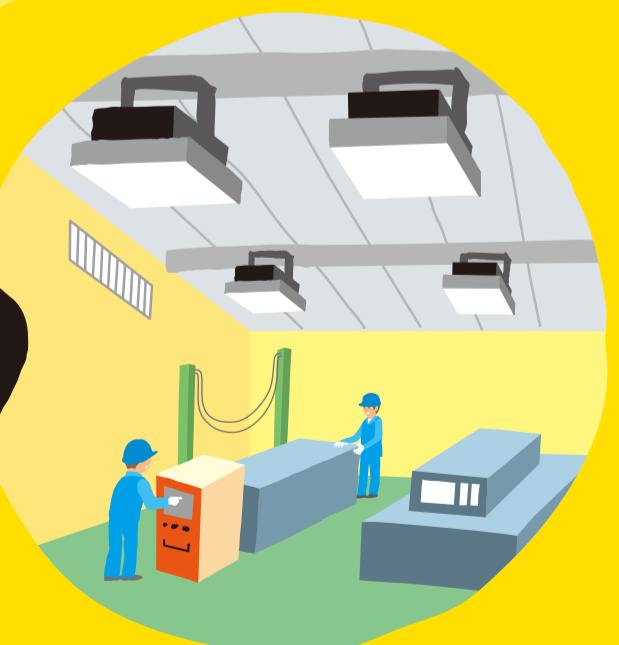
あき電器株式会社

ゼロカーボンワークショップ
開催中

ゼロカーボンシティ調布の
特設ホームページを開設



LED



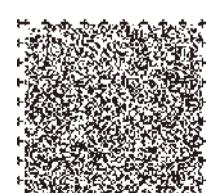
調布市ゼロカーボンシティ宣言

調布市は、公共施設の照明のLED化や、再生可能エネルギーで作られた電力の導入を進めています。

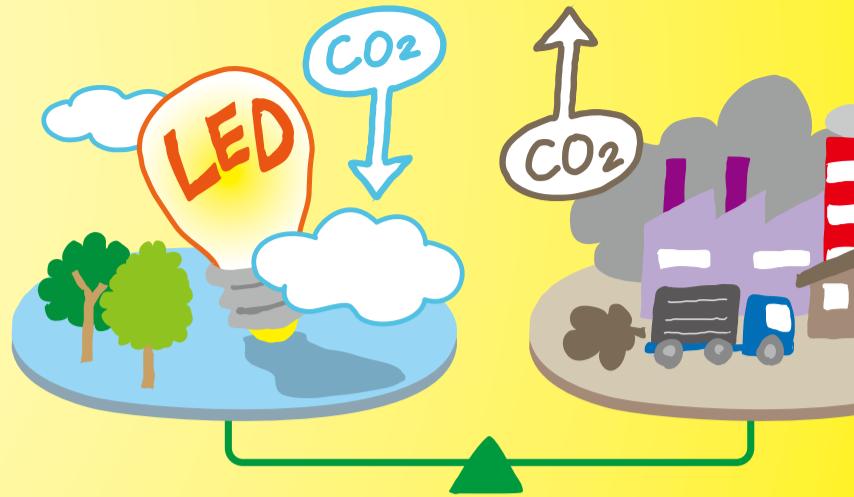


紙による配布を中止したい場合は、配布受託業者(株)小平広告へ ☎042-300-3131

このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリなどを使って音声データを聞くことができます。↗



LED照明で ゼロカーボン!



あなたの選択が地球の未来を変える
家計にも地球にもやさしい照明へ切り替えを



緊急! 知っていますか?
2027年末で全ての蛍光灯の製造が廃止。
すでに段階的な廃止が始まっています。



今のうちに、まずは
よく使う部屋からLEDに!

LED照明の3大メリット

1 驚きの省エネ効果

消費電力 蛍光灯と比べ約1/2に。無理せず電気代も節約。

2 長寿命で交換の手間が減る

寿命 約40,000時間使って、蛍光灯の約5~7倍長持ち。
蛍光灯からの切り替えの場合、約2~3年で設置費用を回収可能。

3 地球環境への貢献

蛍光灯器具2台をLEDに替えた場合の試算

CO₂排出量 年間約30~50kg削減

▶ 杉の木 約3~4本分の吸収量

LED照明への切り替えは、市民一人ひとりができる身近な脱炭素行動。

市内全世帯がLEDに切り替えると…
年間CO₂削減量: 約 6,800トン。
※杉の木約48万本

まだ間に合います!

おトクな市の補助制度は12月26日(金)まで

※補助対象となるかの事前確認(任意)は12月5日(金)まで



LEDではない照明からの切替費用(購入・工事費含む)の8割を補助(最大10万円)

詳しくは、補助事業ホームページまたは調布市省エネ・再エネ相談窓口 ☎042-444-1120

※市の委託先
平日10時~16時(12時~13時を除く)



補助事業HP

市の補助利用者の声



LEDへの切り替えはいずれやろうと思いつながら先のばしになっていたので、今回の補助制度は良いきっかけになりました。



LEDへの切り替えを通じて、自分も温暖化対策を出来る
と知りました。



通路が明るくなり、
助かりました。



調光・調色ができるものをえらんで、
生活が便利になりました。

このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリなどを使って音声データを聞くことができます。

REPORT

みんなで描こう！ 「環境」と「くらし」をつなぐ未来地図

次期環境基本計画・地球温暖化対策実行計画の策定を進めています

計画策定に向けて、市民・市内の事業者の皆さんに聞いてみました



○ 環境基本計画 (環境分野のマスタープラン)

調布市環境基本計画策定に向けた
市民意識調査報告書

- 市民の77%が「地球温暖化の進行」に強い危機感
- 将来残したい場所は、**多摩川・野川の水辺空間、深大寺周辺**
- ごみ分別、エコバッグ持参、エアコンの適温設定に取り組んでいる人は**9割以上**
- 環境学習イベントへの参加率が低い。参加しない理由は「時間がない」が多数で、「参加したことがなく、今後も参加したいとは思わない」は前回調査と比べ**増加**

気軽に参加できて、
生活も豊かになるような
イベントが増えるといいな！



○ 地球温暖化対策実行計画 (ゼロカーボン実現へのアクションプラン)

- 市民の68%が、LED化(9割)・省エネ家電買替(7割)・窓の断熱化(2割)など省エネ・再エネの取組経験あり
- ゼロカーボンシティ宣言の認知度は24.5%。**16~29歳は13%で最も低い**
- 温暖化対策に取り組むきっかけは、「**具体的な方法の提示**」や「**補助制度の有無**」
- 事業者は主に「**社会的な要請に応える**」理由から、温暖化対策の必要性を感じている。
課題と感じることは、**コスト負担(54%)、知識やノウハウの不足(45%)**

取組効果の見える化が
進むといいね！



調布市の環境を皆さんと考えるワークショップを開催

計画策定に向けたワークショップを3回開催しました（うち1回は若者対象）。多くの参加者の皆さんから、調布市の環境をより良くするためのアイディアについて、自由に意見をもらいました！



駅前広場など日常生活で
緑を感じる都市デザインを

太陽光発電を広めるために、
信頼できる業者情報を発信してほしい

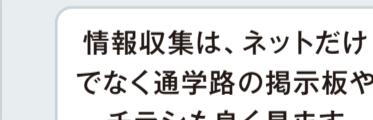
住宅の隣で野菜をつくりながら
暮らす農業住宅をつくり、農業
を考えるきっかけにしては



気軽に立ち寄れて環境のことを
語り合える、
地域をつなぐ場をつくっては

生活環境や景観などに関する
分かりやすい情報発信を

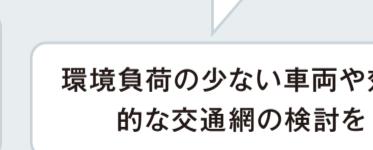
「環境問題×何か(音楽フェスなど)」で参加のハードル
を下げる



大人や若者が参加しやすい
イベントをもっと増やしてほしい

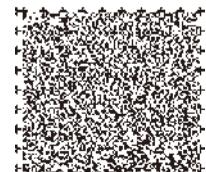
「自然は楽しい」と感じられる
仕組みづくりを

キャラクターとのコラボや
環境ポイントの導入などで
PRしては



次の一步へ

こうした取り組みを通じて課題を抽出し、具体的な施策を体系化した上で、
環境基本計画策定委員会等で議論を深め、市民の皆さまからのパブリック・
コメントを経て令和8年3月までの計画策定を目指しています。



あき電器株式会社

深大寺・佐須の里山の心地よい風を感じながら、ワクワクするモノづくりを続ける「あき電器株式会社」。調布の地で1961年創業。電子制御機器の設計から製造まで、その確かな技術でお客様のアイディアをカタチにしています。



交通公園の信号機などインフラも支えています

余った端材は、便利な道具に組み立て直して再利用。環境にも配慮しながら、作業がしやすくなる工夫が工場内にあふれています。古くなったカラーラジオをアップサイクルしたラジオは、太陽光パネルとつないで防災ラジオとしても活用。



ラジオの電源は
ベランダの太陽光パネル

深大寺の自然とともに幼少期を過ごした代表取締役の稻垣さん(後列一番右)は、中学時代、かに山を守りたいという切実な想いを書いた作文が広報誌に掲載されたこともあったとか。「経営面でも環境配慮が求められる時代。大変なこともありますが、身近な自然を大切に想う気持ちは皆が持っている。地元企業が力を合わせればもっといろんなことができると思います。ゼロカーボンの取組が市・地元企業・大学などの地域資源を結びつけるきっかけになることを期待しています!」



あき電器株式会社 深大寺南町3-11-4



端材で製作された道具は、今や日々の作業に無くてはならないモノに

ゼロカーボンワークショップ毎月開催中

**ZERO CARBON
Workshop**

ゼロカーボン(脱炭素)やSDGsについて、ゲーム形式で楽しく学べる!

親子でも、個人でも、しっかり学びたい人も、ただ楽しみたい人も、色々な人がいてOK。毎回違うテーマなので、リピート参加でも新たな発見があります!

参加者の声

「ゲームが楽しくてあつという間に時間が過ぎていた」「漠然としていたゼロカーボンを自分事として考えられるようになった」「体験型で学習できて気づきが多かった」「付き添いで連れていった下の子も雰囲気が良く楽しんでいた」

今後の開催日程

2025年12月13日(土)あくろすホール
2026年 1月17日(土)あくろすホール
2026年 3月 1日(日)あくろすホール

[申し込みはこちら▶](#)



調布が好き。だから今、できることから始めよう!

ゼロカーボンシティ調布の情報は 特設ホームページでチェック

ゼロカーボンシティ調布の情報は、特設ホームページをご覧いただくのが便利。受付中の補助金やイベント情報などホットな情報が満載。ゼロカーボンシティを目指す調布市のいまが分かります。調布市の温暖化対策のキャラクター「ゴヤたん」にも詳しくなれるよ!

<https://zero-carbon-chofu.jp/>
ゼロカーボンシティちようふ特設HP



調布市地球温暖化対策
啓発キャラクター



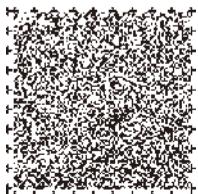
完熟
ゴヤたん

発行 調布市 環境部 環境政策課

〒182-8511 調布市小島町2-35-1
TEL:042-481-7086 FAX:042-481-7550
E-mail:kankyou@city.chofu.lg.jp

登録番号
(刊行物番号)

2025-136



このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用アプリなどを使って音声データを聞くことができます。